

日本大学人口研究所講演会

■ 講演テーマ ■

『出生体重・相対年齢と子どもの発達』

【講演者】

大阪大学感染症総合教育研究拠点特任教授・
大阪大学大学院経済学研究科教授

大竹 文雄 氏

■ 講演概要 ■

出生体重がその後の子供の健康や学力に影響するのではないか、という研究が医学、経済学の分野で蓄積されてきています。本講演では、出生時点の状況が子どもの長期的な発達との関係について、日本のある自治体における小中学生の学力調査や出生体重などの行政データを用いた研究結果を紹介します。分析結果によると、出生児体重は算数の成績と正の相関を持つこと、出生児体重と算数の成績の関係には非線形性が示されています。低体重出生と学力の負の相関は学年を経ても持続しますが、過体重出生は学年を経ると負の相関があらわれます。また、過体重出生は小中学時点で肥満である確率と相関すること、その時点の肥満と学力には負の相関があることが示されました。

開催日時: 2022年1月13日(木) 18:00~19:30

開催方法: オンライン開催(Zoom)

参加対象: 一般・教職員・学生

※本講演聴講御希望の方は、事前登録が必要です。

未登録の方は、聴講できません。

なお、登録手続は、2022年1月12日(水)正午までといたします。



日本大学人口研究所

NIHON UNIVERSITY POPULATION RESEARCH INSTITUTE (NUPRI)

日本大学経済学部研究事務課

Tel : 03-3219-3309